

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和5年3月16日 第178号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本!

【高田城址公園の桜の開花予想は、4月1日です!】

子どもの姿から

【進学進級お祝いの会の給食】→

10日(金)に、進学進級お祝いの会を行いました。

子どもたち一人一人をお祝いする会です。「この子はだれクイズ」を楽しみ、歌のプレゼント交換をしました。うめ・もも組からは「ランドセルラン」、まつ組からは「きみとぼくのラララ」でした。とてもすばらしかったです。

そして、まつ組とうめ・もも組との手作りプレゼントの交換と、園から全員へのプレゼントがありました。おめでとうございます。最後は恒例のまつ組からうめ組への「お当番の引き継ぎ式」を厳かに行いました。

お祝いの会の後は、進級する保育室でそれぞれ給食をいただきました。うめ組はまつへ、もも組はうめへ、そしてまつ組は懐かしきもも組の保育室でした。



園庭・園舎から

【準村山賞の版画と表彰楯】→

8日(水)に、新潟県児童生徒絵画・版画コンクール特別賞作品展に行ってきました。高田図書館に、特別賞(牧田・準牧田・村山・準村山賞)の作品が展示され、みんなで美術鑑賞してきました。本園では版画部門で園児が「準村山賞」を受賞し展示されています。県内の子どもたちの感性鋭い絵画や版画が展示されていました。途中の高田城址公園の散歩は、暖かくて最高でした。

8日(水)に、避難訓練をしました。地震の発生とそれに伴う火災の発生の想定で、避難訓練をしました。さすが、3月の避難訓練となると、子どもたちの動きがすばらしいです。ただ、いつなん時どんな災害が発生するか分からないので、自分で考え対応できる力を子どもたち一人一人に高めたいです。



キーワード

【子どもたちと春の雲の交流】→

○高田城址公園の桜

高田城址公園の周辺には、約4,000本の桜があり、ほとんどがソメイヨシノです。日本三大夜桜、日本さくら名所100選、新潟景勝100選として有名です。

高田城は1614年に徳川家康公の6男・松平忠輝公が築城し、忠輝公の妻・五郎八姫の父である伊達政宗公が指揮をとりました。明治42年(1909年)に第13師団の入営を祝して在郷軍人団が2,200本の桜を植栽し、大正15年(1926年)に第1回観桜会が開かれました。

ソメイヨシノ(染井吉野)は、江戸の染井村の植木師が吉野桜と名付けて江戸時代末期頃に売り出したそうです。しかし、奈良県吉野山の桜はヤマザクラのため誤解を招くとして、明治33年(1900年)に藤野寄命さんが染井吉野と命名しました。また、竹中要さんは実生の分離実験により、ソメイヨシノがオオシマザクラとエドヒガンとの雑種であることを確認しました。(参考：上越市、上越市公文書センター、語源由来辞典のサイト、竹中要「サクラの研究(第一報)ソメイヨシノの起源」1962年)

